

未来に求められる新しい学びや、その知識体系とは

# 第2回 共創系学部合同 カリキュラムセミナー

～文理横断・融合型としての  
卒業研究の在り方について～

令和8年

3/16 月  
13:00～15:15



お申し込みは  
2次元コードから



<https://forms.office.com/r/HzL0gmGt3r>

会場

静岡大学静岡キャンパス 共通教育A棟301教室

※対面での開催を基本としますが、Zoomでのご参加も可能です。詳しくは2次元コードより。

講師

佐藤 靖 新潟大学創生学部 学部長

荒谷邦雄 九州大学共創学部 学部長

山田俊弘 広島大学総合科学部 学部長

内容

プログラムに関しては、裏面をご参照ください。

主な  
対象

高等教育における文理融合型カリキュラムに興味・関心のある方

定員

約100名（会場参加者）

申込  
方法

掲載の2次元コードにしたがってご応募ください。

お申し込み〆切：令和8年3月9日（月曜日）

お問い合わせ先

静岡大学グローバル共創科学部事務部

TEL：054-238-3712 MAIL：global-s@adb.shizuoka.ac.jp

〔主催〕 静岡大学グローバル共創科学部

〔後援〕 静岡大学未来創成本部

## 本セミナーの趣旨・概要

### 「文理横断・融合型としての卒業研究の在り方について」

現代社会における複雑な課題を解決するためには、従来の専門知に偏らない新たな学びや知識体系が求められている。文理横断・融合型、さらには社会連携に基づく教育の取り組みは、その要請に応えるものであり、知識や情報を組み合わせて新たな価値を創出し、多様な他者と協働して課題を解決する「総合知」を備えた人材の育成が急務となっている。

このような人材育成を目指し、近年は全国各地で「共創系学部」の設立が相次ぎ、その始動・実績が見られる。こうした状況を踏まえ、昨年度より「共創系学部合同カリキュラムセミナー」を企画し、文理横断・融合型教育における課題解決型カリキュラムの強みや特色について意見交換・共有を行ってきた。

そこで、本年度の第2回セミナーでは、共創系学部で展開されている「卒業研究」を取り上げ、その教育目的・内容・方法について意見交換・共有することをテーマとする。卒業研究は学生の学修・研究成果の集大成であるが、文理横断・融合型の教育課程においてどのように位置づけ、展開しているのか。既に実績を有する大学や新たに取り組もうとする大学の事例発表を通じて、文理横断・融合型における卒業研究の在り方について議論を深めたい。

## 当日のプログラム

### 【開会挨拶】

塩尻 信義 静岡大学 教育担当理事・副学長

### 【シンポジウム】

#### ▶趣旨説明

松澤 祐介 静岡大学グローバル共創科学部 准教授

#### ▶話題提供

① 佐藤 靖 新潟大学創生学部 学部長

② 荒谷 邦雄 九州大学共創学部 学部長

③ 山田 俊弘 広島大学総合科学部 学部長

#### ▶パネルディスカッションおよびフロアとの意見交換

コーディネーター：平井 浩文 静岡大学グローバル共創科学部 副学部長

村田 真一 静岡大学グローバル共創科学部 学部長補佐

### 【閉会挨拶】

江口 昌克 静岡大学グローバル共創科学部 学部長